

情 報 公 開 文 書

研究の名称	手術前E/e' 値と鏡視下食道切除術後の心房細動発生について
整理番号	
研究機関の名称	富山大学附属病院
研究責任者	堀川 英世
研究の概要	<p>【研究対象者】 2014年4月から2020年5月まで当院で鏡視下食道切除術を施行された症例を電子麻酔記録より抽出します。咽頭喉頭合併切除症例、肺合併切除症例、術前に心房細動/発作性心房細動の既往がある症例、ペースメーカー植え込み症例、人工透析症例、手術2か月以内に経胸壁心エコー・カラードップラー法を施行していない症例、経胸壁心エコーでEF50%未満の症例は、本研究から除外します。</p> <p>【研究の目的・意義】 術前のE/e'の上昇が食道切除術後の心房細動発生に関与するかを検討します。術後の新規心房細動発生のリスク因子を予測することで、将来的に心房細動を予防するための周術期管理が可能となり、術後合併症の減少や入院日数の短期化を目指します。</p> <p>【研究の方法】 術前E/e'が8未満の正常群(N群)と8以上の上昇群(H群)の2群間で比較検討を行います。主要評価項目は術後1週間以内の心房細動発生の有無とし、副次評価項目は術後1週間以内の合併症の有無とします。</p> <p>【研究期間】 承認日から2022年3月31日まで</p> <p>【研究結果の公表の方法】 学会及び医学雑誌での発表</p>
研究に用いる試料・情報の項目と利用方法 (他機関への提供の有無)	試料はありません。研究に用いる情報は電子麻酔記録、電子カルテから抽出します。項目としては年齢、性別、身長、体重、BMI、術前の合併症、左室駆出率、E/e'値、手術時間、麻酔時間、術中輸液量、輸血量、出血量、尿量、麻酔方法、手術前後の血液検査値(Hb、TP、AST、ALT、eGFR)、術後1週間の心房細動発生の有無、合併症の有無です。 (他機関への提供はありません)
研究に用いる試料・情報を利用する機関及び施設責任者氏名	富山大学附属病院 麻酔科 堀川英世
研究資料の開示	研究対象者、親族等関係者のご希望により、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で研究計画書等の研究に関する資料を開示いたします。
試料・情報の管理責任者(研究主機関における研究責任者氏名)	富山大学附属病院 麻酔科 堀川英世
研究対象者、親族等関係者からの相談等への対応窓口	<p>研究対象者からの除外(試料・情報の利用または他機関への提供の停止を含む)を希望する場合の申し出、研究資料の開示希望及び個人情報の取り扱いに関する相談等について下記の窓口で対応いたします。</p> <p>電話 076-434-7377 FAX 076-434-5040 E-mail ricacoco@med.u-toyama.ac.jp 担当者所属・氏名 麻酔科 堀川 英世</p>